

～賃貸マンションにおける空間創出プロジェクト「Roomot（ルーモット）」第3弾～

住まいに、もっとスペースを。自分らしく生活する新しい選択

ルーモット デスコ

## ワークスペースになる収納「Roomot desko」を開発

三菱地所レジデンス株式会社（以下、「三菱地所レジデンス」）は、三菱地所レジデンスの賃貸マンションシリーズ「ザ・パークハビオ」において、住宅設備機能の見直しを中心とした空間創出プロジェクト「Roomot」（商標登録完了）を進めており、2022 年 1 月に複数のアイテムをシリーズ化して展開することを発表いたしました。その後も限られた生活スペースにおける「自分らしい暮らし」を追求してまいりましたが、この度第3弾のアイテムとして、ワークスペースになる収納「Roomot desko（ルーモット デスコ）」（商標登録出願中）を開発いたしました。

「Roomot」は、ライフスタイルが多様化する中で、今まで誰にでも必要不可欠と考えられていた住まいの設備機能に、優先順位をつけたり取捨選択をしたりすることで、より自分らしく自由に活用いただけるスペース創出を目指す取り組みです。

今回開発した「Roomot desko」は、収納を機能性の観点から見直し、新たにデスク機能を追加することで、限られた生活スペースにワークスペースを創出した商品です。これまで、収納スペースとしてのみ使用していた部分を、お客様のライフスタイルや生活のシーンによってデスクのあるワークスペースとしても活用できるため、生活スペースをより有効に活用することができます。

### 【「ザ・パークハビオ 亀戸」で提案する「Roomot desko」の特徴】

- (1) 「収納」を機能性から再考し、新たに「デスク」機能を追加
- (2) 住まう方のライフスタイルや生活のシーンによってカスタマイズが可能
- (3) ワークスペース機能と収納スペース機能の兼用を提案

「Roomot desko」は江東区大島 3 丁目に建設中の賃貸マンション「ザ・パークハビオ 亀戸」への採用が決まっており、第1弾「Roomot MIXINK（ミキシंक）」、第2弾「Roomot Shower（シャワー）」と併せて導入する予定です。「Roomot」アイテムの組み合わせで、自分のライフスタイルに必要な住宅設備機能を選択し、その分創出されたスペースをより自分らしく活用する新しい暮らし方を提案いたします。



▲「Roomot desko」使用イメージ

三菱地所レジデンスは今後とも、時代の変化と共に多様化するライフスタイルと向き合い、「Roomot」における間取り開発への挑戦を続けることで、新たな付加価値の創造を目指してまいります。

## ■「ザ・パークハビオ 亀戸」で提案する「Roomot desko」の特徴

### 【「収納」を機能性から再考し、新たに「デスク」機能を追加】

コロナ禍によって、住まいは在宅勤務をはじめ会食や趣味の場所となるなど、「住宅」自体の在り方の変化が加速しました。そういった生活スタイルの変化の中で、限られた生活スペースで自分らしく暮らす方法の一つとして「Roomot desko」を開発しました。賃貸マンションの間取りは水回りの設備が専有面積の多くを占め、洋室にベッドとデスクを配置するとソファ等のくつろぎのスペースを確保できない場合があります。そこで洋室に備え付けられた収納スペースを、ワークスペースと兼用することを考えました。三菱地所レジデンスの賃貸マンションシリーズ「ザ・パークハビオ」は、今後も「Roomot desko」の採用物件を増やしていく予定です。



▲「Roomot desko」イメージ

「Roomot desko」はシステム収納の台輪部分を無くし、洋室のフローリングを張り延ばしたものです。ワークスペースとして利用する際には、片方の引戸を開け放ち、居室を拡大させるイメージでお使いいただけます。デスクとなる天板部分は固定されており、デスクとして使用しない場合は、収納棚としてお使いいただけます。ワークスペースは部屋の一部になりますので、システム収納の棚、デスク部分の質感は洋室のフローリングや壁紙の色に合わせてインテリア性の高いものを提案しています。

「ワークスペースを作ったら、くつろぎのスペースを確保できなくなってしまった」というお悩みに応えつつ、更にワークスペースとして使用しないときには収納として利用できる、自分らしい暮らしを叶えるカスタマイズ性も提案します。

### 【住まう方のライフスタイルや生活のシーンによってカスタマイズが可能】

「Roomot desko」の棚板割付は、「デスク」機能と「収納」機能が両立し、お客様がご自身のライフスタイルに合わせて何通りにもカスタマイズできるものになるよう検討いたしました。

デスク部分は、ノートパソコンと資料を広げられるよう奥行、幅を確保しました。天板は他の棚板より少し厚くし、両脇と奥の3方を固定することで、デスクにかかる荷重を考慮しています。足元にコンセント、デスク部分に配線用のコード穴を設置し、デスクにスタンド照明などを設置することもできます。デスクとして使用しない時には、清掃ロボットの充電器設置場所としても使用できます。



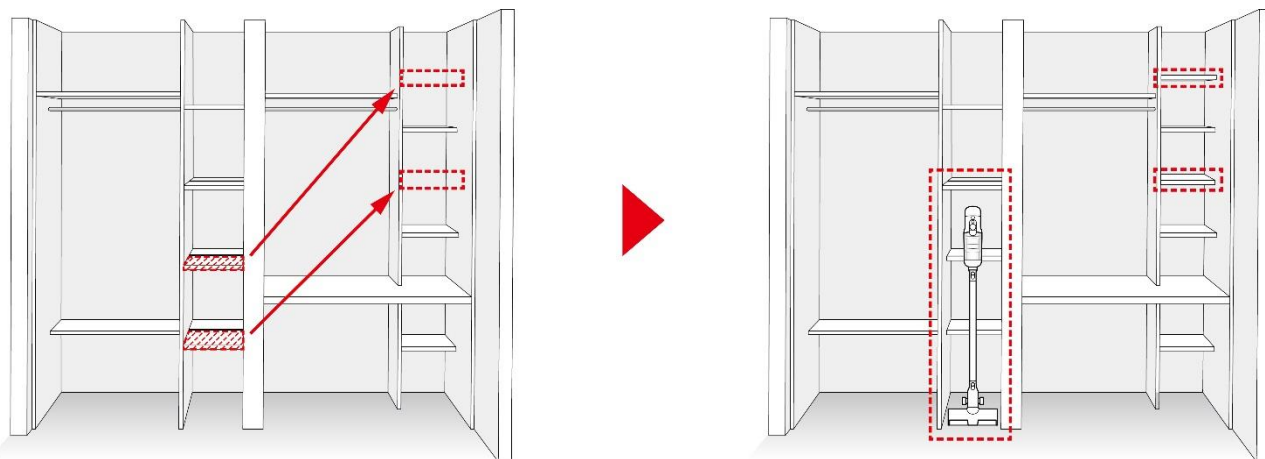
▲「Roomotdesko」収納使用例



▲「Roomot desko」ワークスペース使用例

収納棚として使用する棚板は、手前と奥側の棚板を2等分の奥行にすることで、デスク側で奥行を浅くした棚にも設置できるようにしています。手前半分だけ、奥半分だけに棚板を設置し、奥に小物、手前に長物を収納することも可能です。

またデスクとして使用する際に、上部や脇の棚部分に書類を立てて収納できるよう、A4サイズの書類ボックスが収納できる奥行になっています。



#### 【ワークスペースと収納スペースの兼用を提案】

「Roomot desko」は上吊り引戸で下にレールや段差がないため、デスクとして利用する際にも椅子の足が引っかかるなどの不具合なくお使いいただけます。また引戸を開けるとワークスペースや飾り棚としてお使いいただきやすく、インテリアの邪魔になりません。入居時にすでにワークスペースが備え付けられていることで、「Roomot desko」部分が居室の一部であり、収納にもなります。「Roomot desko」の導入によって、今までワークスペースを設置するためにあきらめていた家具を設置できるよう、スペース創出を目指しています。

#### 【desko の名称について】

## Roomot desko

「DESK」（デスク）に「KO」（個人の「個」であり、書庫、車庫等の「庫」であり、小さなスペース「小」）を掛け合わせた造語。収納スペースの機能が備わったデスクであることを表現するとともに、自分らしい、自分だけのスペースになるようにという願いを込めて命名しました。

#### ■ 「Roomot」について

「Roomot」とは、三菱地所レジデンスの賃貸マンションにおける、住宅設備機能の見直しを中心とした空間創出プロジェクトです。ライフスタイルが多様化する中、今まで誰にでも必要不可欠と考えられていた住宅設備の機能に、「Roomot」アイテムの導入によって優先順位をつけることで、自由に活用いただけるスペースを作り出し、より自分らしい理想のライフスタイルの実現をサポートいたします。今後も新しいアイテムの開発を進め、より大きな空間創出を図りつつ、将来的には、ホテル、SOHO、新築分譲マンション、リノベーション物件といったアセットへの展開についても検討を進めてまいります。



### 【第1弾「Roomot MIXINK」について】

「Roomot MIXINK」は、洗面化粧台とキッチンを1つにまとめた新しい水回り住設機器です（MIXINKは商標登録完了）。洗面や、コーヒーを淹れるような簡単な調理に利用できるよう、流し台、鏡、IHコンロやレンジフード、各種収納を備えています。また、周囲をホーローパネルで仕上げ、お住まいになる方がマグネット小物等でカスタマイズを楽しめる仕様にいたしました。「Roomot MIXINK」の導入により水回りの機能をまとめることで、ワークスペースの創出や、+αの家具配置が可能になるなど、生活空間の創出に貢献いたします。

なお、「Roomot MIXINK」を導入した「ザ・パークハビオ 五反田」が2022年11月末に竣工予定です。

プレスリリース：[https://www.mec-r.com/news/2021/2021\\_0614.pdf](https://www.mec-r.com/news/2021/2021_0614.pdf)

### 【第2弾「Roomot Shower」について】

「Roomot Shower」は、浴槽をあまり使わないライフスタイルのお客様に向けて開発した、全面タイル張りのシャワーユニットです。「Roomot Shower」を導入することで、浴槽がなくなった分の生活スペースを自分らしく活用いただけます。「Roomot Shower」は、扉が透明ガラスで、内装は全面タイル張りとなっており、オーバーヘッドシャワーを設置したホテルライクな仕様です。一般的に賃貸マンションにおけるシャワーユニットは、限られた専有スペースの中でユニットバスの代用として導入されることもありますが、「Roomot Shower」はインテリア性の観点からも、積極的に提案してまいります。

プレスリリース：[https://www.mec-r.com/news/2022/2022\\_0111.pdf](https://www.mec-r.com/news/2022/2022_0111.pdf)



## ■「ザ・パークハビオ 亀戸」物件概要

所在地：東京都江東区大島 3 丁目 60-4、60-11（地番）  
交通：JR 中央・総武線、東武亀戸線「亀戸」駅 徒歩 8 分  
都営新宿線「西大島」駅 徒歩 6 分  
総戸数：52 戸  
構造・規模：RC 造地上 14 階建  
敷地面積：実測 324.33 m<sup>2</sup>  
延床面積：2,037.76 m<sup>2</sup>  
用途地域：商業地域  
間取り：1R～1LDK  
専有面積：25.24 m<sup>2</sup>～35.47 m<sup>2</sup>  
着工日：2022 年 1 月 11 日  
引渡予定：2023 年 9 月 30 日（予定）  
建築主：三菱地所レジデンス株式会社  
設計・監理：株式会社現代総合設計  
施工：TSUCHIYA 株式会社



▲「ザ・パークハビオ 亀戸」外観イメージ

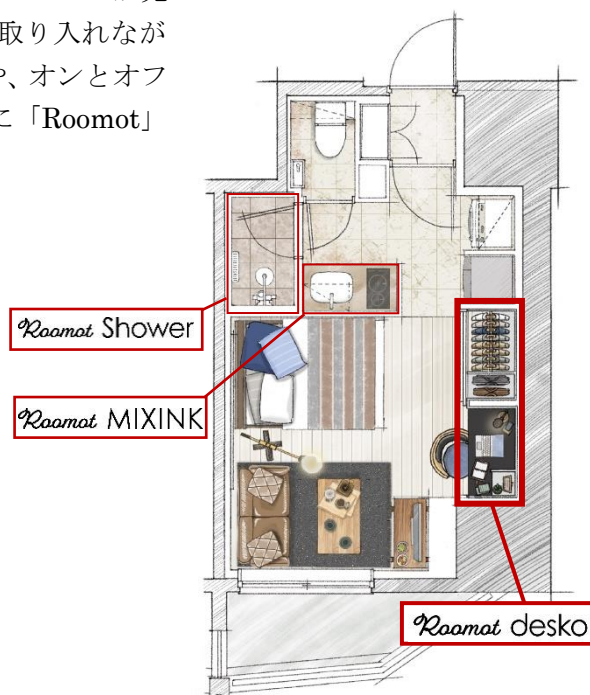
## ■「ザ・パークハビオ 亀戸」における「Roomot」プランについて

「ザ・パークハビオ 亀戸」では、「Roomot MIXINK」、「Roomot Shower」、「Roomot desk」の 3 つのアイテムを組み合わせて採用し、都内の賃貸マンションでありながらより大きな居住空間の創出を図る「Roomot」プランを提供します。「ザ・パークハビオ 亀戸」は、都心へのアクセスが良く、駅前に飲食店も充実しているため、主に单身者や転勤者のニーズが見込まれています。外食やテイクアウト等を効率的に取り入れながら、通勤と在宅勤務を両立する忙しいビジネスマンや、オンとオフを区別し住まいのインテリアにこだわりたいお客様に「Roomot」プランを提案いたします。



▲「Roomot」プランイメージ

（中央：「Roomot MIXINK」、右：「Roomot Shower」）



## 【参考】「ザ・パークハビオ」について

「The Parkhabio」シリーズは、三菱地所レジデンスの高品質賃貸マンションシリーズで、良質なマンションづくりを目指し、用地取得から企画・品質管理、マーケット調査・リーシング、管理など、多岐にわたる事業工程すべてを三菱地所グループにて行う一貫体制システムを採用しています。都内を中心にエリアの拡大を図っており、2022年10月に竣工100棟を達成しました。新ブランドスローガン「その瞬間に、心がはずむ。」を掲げ、一歩先のライフスタイルに想いを巡らせ、入居者の皆様や街に心はずむ瞬間をお届けしてまいります。

- ・ブランドコンセプト <https://www.mecsumai.com/tphb/brand/>
- ・コンセプトムービー <https://www.mecsumai.com/tphb/>



以 上